

〒190-0011 東京都立川市高松町 2-9-22 生活館ビル 3F
TEL : 042-527-6051 / FAX : 042-548-1368
www.sodateage.net info@sodateage.net
@sodateagenet

育て上げ ネット
検索



2015-2016年度年次報告書

応援してくださったみなさまへ

Sodateage-Net Annual Report 2015-2016

当法人にご協力いただき、ありがとうございました。
おかげさまで、さまざまな活動を行うことができました。
ご報告をもって、御礼にかえさせていただきます。

私たちがめざすのは……

すべての若者が社会的所属を獲得し、

「働く」と「働き続ける」を実現できる社会……です。

そのために、「若者と社会をつなぐ」を行っていきます。



2015-2016年度を振り返って……

私たちの二つの目では見渡せないほど、広く、多様性に満ちた社会において、誰からも手を差し伸べられないまま、長く苦しい時を過ごしているひとたちがいます。そんな若者たちとどうやったら出会えるのか。どうしたら一緒に笑い合えるのか。希望に満ちた未来への展望を描く若者たちの傍にそっと寄り添いたい。

そんなことをいつも考えています。

進学や就職の報告をとともに喜び、勇気をもって踏み出した一步に感激する。目に見えないほど小さな変化を刻んだ一人ひとりの軌が未来を切り開き、こころ豊かな生活、豊かな社会へとつながっていく無数のストーリーが、私たちの現場にはあります。

2015-2016年度、私たちは二つの大きなチャレンジをしました。ひとつは、少年院から退院する若者・子どもたちの力になれるように。もうひとつは、生活保護世帯で外出が困難な若者の家庭に会いに行く。出会った若者たちそれぞれには、背負い、抱えているものがありました。そして、同じように笑顔があり、小さな変化が起こりました。

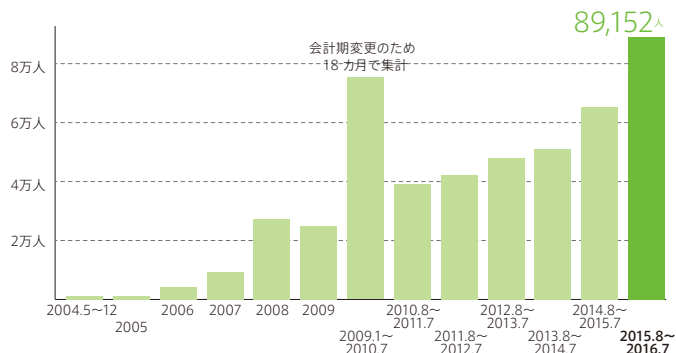
私は、支援を望む若者たちに寄り添い、毎日の支援活動に全身全霊で取り組む職員を誇りに想います。大切な時間を提供してくださるボランティアのみなさま、活動を支えてくださる寄付者のみなさま、そして惜しみなく力を貸してくださる企業、学校、行政、NPO、地域のみなさまに深く感謝いたします。みなさまとともに歩んでいける、歩んでいただけるよう次年度も真摯に活動してまいります。



私たちは2015-2016年、
たくさんの人々を支援することができました。

2015-2016年度受益者数（2015年8月～2016年7月）

89,152人



2015-2016年の活動 PICK UP

少年院を退院する子どもたちに関わる理由

少年院を退院する子どもたちの就労支援を本格的にはじめました。保護者などからの支援が得られない子どもたちが退院する日に会いに行き、社会復帰に向けた再チャレンジを応援します。彼らは「社会に再びつながることがいかに困難か」ということを教えてください。ある少年は言いました、「児童・少年と名のつくところには全部お世話になりました。施設の人以外の大人で助けてくれたのは育て上げネットの人だけでした」。そのように感じていると知ったとき、私たちにもできることがあると思ったのです。これからも必要としてくれる子どもたちがいる限り続けていきたいと考えています。

拠点型の行政協働事業と無業化予防支援が10年目に「地域若者サポートステーション」（厚生労働省）など、行政の協働による拠点型の若者支援事業、また、主に高校生を対象に予防的な支援としてはじまった「MoneyConnection®」（新生銀行）が10年目を迎えることができました。これらは「ジョブトレ」「結」と並んで、私たちの活動基盤になっています。「若者 UPプロジェクト」（日本マイクロソフト）、「ホンキの就職」（リクルートホールディングス）、「若者就労応援パッケージ 西友パック」（西友）、「Youth Drive for Secure Jobs」（J.P.モルガン）、「ジョブトレ IT」（Google）などの取り組みは、基盤事業の強化につながっています。

直接支援以外にも、『若年無業者白書』第二弾を発刊したほか、理事長の工藤 啓が「一億総活躍国民会議」の委員として政策提案をするなど、よりよい社会にしていけることに貢献できました。

尼崎市におけるアウトリーチ事業

2015年7月から1年間（その後2017年3月末まで延長）、ソーシャル・インパクト・ボンド（SIB）事業として尼崎市と連携し、生活保護世帯の若者に対してアウトリーチを行いました。

SIBとは、民間の資金で社会事業を実施し、合意した成果に達した場合、行政が成果に応じ資金提供者に費用を支払うもの。今回は日本財団のご協力により実施することができました。

www.nippon-foundation.or.jp/news/articles/2016/63.html
今回かかわった若者のなかには「これがなかったら、この先もずっと家にいだろう」と言う方も現れました。何度も会ううちに自信を取り戻した彼は明るくなり、今では自ら積極的に就職活動を行うようになりました。



それぞれの現場ではこんなことに取り組んでいます。

●ジョブトレ…若年者就労訓練プログラム

小売店店舗実習で自信をつけ小売業に就職

2015年8月～2016年7月の新規登録者数は46名、進路決定者数は56名でした。たとえば、こんな進路決定者がいます。週2日通うのが精いっぱいだった19歳のA男さん。彼が変わりはじめたのは1カ月を過ぎたあたりでした。スタッフや利用者さんたちとの会話も増え「楽しい」と話してくれるようになりました。そして、小売店での店舗実習へ。当初は「接客販売は無理」と言ってい



ましたが、実習で興味を持ち、自ら応募した小売業への就職が決まりました。最初に相談に来たときの表情が嘘のようです。

◀大型小売店での店舗実習のほか、接客販売の体験イベントも行っています。

●教育支援…高校などへの出前授業

11,641人にキャリア教育プログラムを提供

取り組み開始からちょうど10年の節目を迎えました。初めに企画した MoneyConnection® を受講した高校生はのべ 96,320 名となり、2017 年度には10万人を超える見込みです。また出前授業は若者に支援情報を提供する機会としての役割も果たしています。「生きていくために必要な話を生徒に寄り添って伝えてくれる」



という先生方の声や、「進路を雑に考えていたけどじっくり考えた」「世の中には助けてくれる機関がいろいろあることがわかった」など自立につながる様々な生徒の声が寄せられています。

●結(ゆい) …「わが子」の自立・就労に悩む母親の会

地方からの相談もオンラインでコンサルティング

2015年8月～2016年7月の「結」の会員数は75名、前向きな動きがあったのはうち28件でした。「オンライン結」の会員数は57名。地方や海外の方もいらっしゃいます。たとえばB男さんのお母さまから相談がありました。B男さんは法学部志望で宅浪生活を7年続けていましたが、お母さまは「結」監修の書籍を読み、



「もしかしたらウチの子は浪人生ではなくひきこもりでは?」と考えたそうです。相談員はお母さまにアドバイスを続け、お母さまがB男さんに働きかけた結果、B男さんはようやく進路変更を両親に言い出すことができました。

◀『子どもがひきこもりになりかけたら』
上大岡トメ著・「結」監修・KADOKAWA刊

●学習支援…生活困窮世帯の子どもへの支援

「育て上げネット6年生」が高校生に

2015年8月～2016年7月までに329人の子どもと関わることができました。小学校4年生から通っているCちゃんは人見知りで、教室で泣いてしまうこともありました。しかし、日常学習はもちろん、ご寄付や助成金で実施したイベント等を通じて成長し、受験生だった今年、無事、第一希望の高校に合格できま



した。「この学校でやりたい仕事に必要な資格を取って、お店を開けるようになりたいです」と大勢の前で発表する姿は、出会ったころとは別人のように堂々としていました。



私どもの活動にご支援ありがとうございます。

ご支援くださった方全員のお名前を掲載することはできませんが、重ね重ね感謝いたします。法人・団体でのご支援をご紹介します。

アルファベット・五十音順 敬称略

株式会社 CAMPFIRE
FC 東京 (東京フットボールクラブ株式会社)

gooddo 株式会社

株式会社 JG マーケティング

JP モルガン証券株式会社

READYFOR 株式会社

一般社団法人 SAVE TAKATA

UBSグループ

UBS証券株式会社、UBS銀行東京支店、
UBSアセット・マネジメント株式会社

株式会社 waja

アクセンチュア株式会社

コーポレート・シチズンシップ推進室
「若者の就業力・起業力強化」チーム

株式会社アドックインターナショナル

株式会社インテリジェンス

株式会社ウィザス

グーグル合同会社

ケアプロ株式会社

株式会社ケントク

シービーエス株式会社

株式会社新生銀行

スマートニュース株式会社

合同会社西友

ソフトバンク株式会社

公益社団法人立川法人会

農事組合法人丹波山倶楽部

ディースタANDARD株式会社

デロイト トーマツ コンサルティング合同会社

テンプスタッフ株式会社

テンプホールディングス株式会社

公益財団法人東京都福祉保健財団

NPO 法人ドットジェイピー

日本アイ・ビー・エム株式会社

公益財団法人日本財団

公益社団法人日本フィランソロピー協会

日本マイクロソフト株式会社

株式会社バリューブックス

株式会社ビズリーチ

株式会社フェブ

独立行政法人福祉医療機構

藤原印刷株式会社

公益社団法人武蔵野法人会

Yahoo! ネット募金

株式会社読売新聞東京本社

株式会社リクルートホールディングス

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ

リンクトイン・ジャパン株式会社

走ることが若者支援になる…大阪マラソン

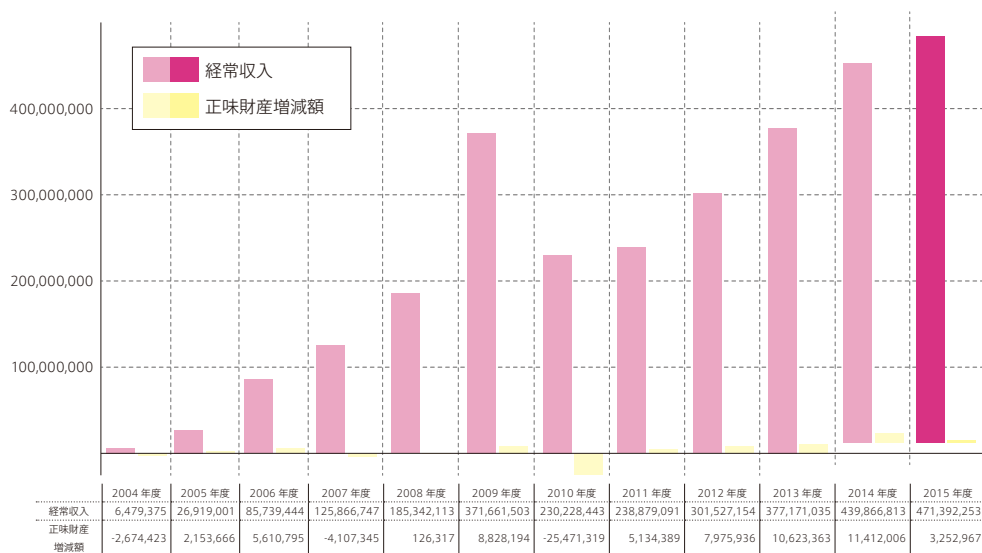
第4回大阪マラソン(2014年)に続き、第5回、第6回大会の寄付先団体に選定いただきました。第5回大会を通じていただいたご寄付は8,582,668円にもなり、経済的に厳しい家庭の若者が受益者負担なく支援を利用するための資金として活用させていただきました(第6回大会の寄付額は大会事務局にて集計中)。

若者のために走ってくださったチャリティランナーのみなさま、チャリティランナーを応援してくださったみなさま、沿道で応援してくださったみなさま、本当にありがとうございました!



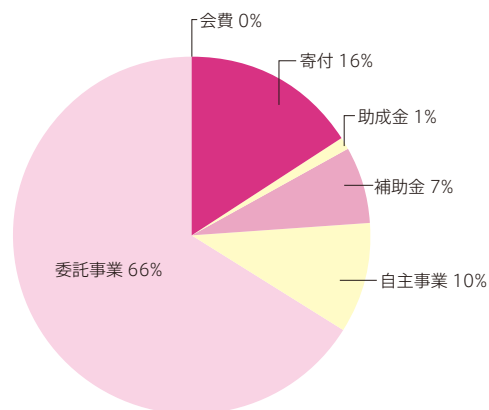
正味財産の増減はありますが、事業収入は順調に伸びています。特にここ数年は自主事業がほぼ横ばいなのに対し、委託事業が大きく伸びています。2010年度は次年度以降の事業拡張のための先行投資により正味財産が大きく減少し、また、昨年度は事業収入は伸びましたが、正味財産が前年度と比して減少しました。原因としては、新規事業（保護者・家族支援のオンライン事業）への先行投資、バックヤードの人材充実があげられます。

2004～2015年度の経常収入および正味財産増減額の推移



一人でも多くの若者を支援し続けるには、財務の健全強化は必須だと考えます。委託事業が占める割合が大きく、自主事業は1割程度です。委託事業は必要ではありますが、ビジョン・ミッションの達成には自主事業の充実は不可欠であると考えています。助成金は、事業構成上必要な時に申請しています。年度毎のばらつきはありますが、昨年度は1%程度でした。会費・寄付については、より一層の強化が必要であると考えています。さまざまな形での広報活動を通じて、充実させていきたいと思っています。

2015年度の収入内訳



会費	170,000
寄付	75,538,400
助成金	5,923,662
補助金	34,236,005
自主事業	46,718,994
委託事業	308,018,844
その他	786,348
合計	471,392,253

*2009年度は、会計期間変更（定款変更）のため、会計期間が19カ月あります。

*当法人の会計は、NPO会計基準に基づくとともに、毎月の税理士による監査を受け入れ、適切に処理しています。